

# 令和7年度 第3回 学校運営協議会 議事録

## 【概要】

日 時：令和8年2月13日（金）午後7時～午後8時30分

会 場：本校本館2階 応接室

参加者：（委 員）新崎会長、井関副会長、佐藤委員、西村委員、古川委員、堀田委員  
（事務局）准校長、教頭、事務/課長補佐、首席、教務主任、保健主事、記録

## 【配布資料】

- ① 学校運営協議会 次第
- ② 各分掌・委員会、クラブ活動等の総括及び報告
- ③ 授業アンケート評価の経年変化（R01～R07）
- ④ 学校教育自己診断の結果と分析
- ⑤ 令和7年度 学校評価アンケート 肯定度経年変化
- ⑥ 令和7年度 学校経営計画及び学校評価（案）
- ⑦ 令和8年度 学校経営計画（案）及び学校評価

## 【内容】

1. 開会のあいさつ〔准校長より〕

2. 報告

① 各分掌・委員会、クラブ活動等の総括及び報告〔首席より〕

・各分掌より

教務部…在籍者数の報告

生活指導部…交通安全教室・SNSの使い方・車両通学について

生徒会…前期後期(各8名)での活動について

生徒会交流会への参加（府立中央高等学校にて）

進路指導部…進路状況及び就職先・進学先の報告

保健部…保健室と相談窓口の利用状況について

健康診断・検診の受診率について

生徒支援委員会…SC・SSWの活動報告

なごみカフェ…クリスマス行事・節分行事の報告

・地域連携活動

幼稚園のさつまいも掘り体験、保護者向け体験実習会(バーナーワーク等)

子ども食堂への野菜の提供等

・部活動

部活動加入率及び大会や検定の結果について

- ・研修報告
  - 教職員向け人権研修、支援教育研修(講師：本校 SC・SSW)
  - 校内研修「通信教育と通信制高校の現状」について
- ・その他
  - 御舟町自治会様へご寄贈いただいたお礼（パイプ椅子 57 脚・長机 10 台）
- ・資格取得状況の報告

- ② 学校防災アドバイザー派遣事業について〔保健主事より〕  
地震・停電を想定した防災避難訓練の様子について

〔以下、准校長より（詳細は各資料参照）〕

- ③ 第2回 授業アンケートの結果について  
④ 令和7年度 学校教育自己診断の結果について  
⑤ 令和7年度 学校経営計画及び学校評価（案）について  
⑥ 令和8年度 学校経営計画（案）及び学校評価について

### 3. 協議〔議長：新崎会長〕

〔新崎会長より〕

委員就任の当初から面倒見の良い学校であると実感している。

軟式野球部やウエイトトレーニング同好会等で生徒同士の繋がりができていると思う。

Q. 保健室の来室者は減少しているが、相談窓口の利用者が増えている理由はあるのか？  
(相談できず潜在化している生徒が減少していると考えられると良いことであると思う。)

A. 怪我等の身体面での保健室利用は減少している。一方、相談室は来室する際に友人も一緒に来室して話していることや、友人関係や進路、授業、成績等の悩みが話しやすい環境にあることも要因の一つであると考えられる。

Q. 学校評価アンケートで教職員の肯定度が前年度と比較して2割程度落ちている項目が2項目ある。これらの原因は何か？

A. 担当教員が1人しかいない教科の場合、他の教科へ相談できないこともあるのではないかと考えている。

分掌等での会議はしており、コミュニケーションは取れている。また、今後は管理職として会議の内容を吸い上げ、学校運営に反映していく。

〔井関副会長より〕

Q. 先生方の異動の状況。定時制にずっと勤めていた先生方が異動して来るのか？

A. 定時制から異動してくる場合と全日制から異動してくる場合の両方がある。

Q. 全日制勤務と定時制勤務では色々と違うと思うが、先生方に戸惑いはあるのか？

A. 担当教科の教員数や勤務時間帯も違うため、そのような戸惑いはあると考えている。

〔佐藤委員より〕

学校評価アンケートの生徒の肯定度が全体的に高く見える。

その中でも「学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」の項目が他より高い。

行事を教員と一緒に工夫して準備を行うことで、その経験が卒業後の生活で役立つと思う。

学校評価アンケートの教職員の肯定度が低い項目に関しては、情報共有がうまくいっていない可能性があるのではないのでしょうか。組織的な部分で懸念材料であると思う。

〔古川委員より〕

学校経営計画の働き方改革の項目では、是非とも目標値に近づける勤務をしてほしい。

それが先生方の余裕に繋がると思う。

きめ細かいカリキュラムで素晴らしい学校だと感じており、教職員も余裕をもって進んでほしいと思う。

〔西村委員より〕

学校評価アンケートの生徒の肯定度では、全体的に肯定的な意見が多い。

「担任の先生以外にも相談室等で相談できる先生がいる」の項目で肯定度が高いが、残りの相談できない生徒の声を聞けるようにすることも大切である。

Q. 薬物乱用防止教室を開催回数ではなく、生徒の変容で評価したいがアンケートが増えてしまう。どのようにして変容を見ていくのか？

A. どのようにして生徒の理解度や変容を見ていくのか、現在考え中である。

細かく丁寧にやると伝わるのか、それとも回数を重ねると伝わるのか、現時点では正解を模索している。

〔堀田委員より〕

学校に相談できない生徒、話せない生徒の声を聞いてあげてほしいと思う。

#### 4. 閉会のあいさつ〔准校長より〕